



CRG HOLDINGS

2026年9月期第3四半期決算説明会資料

CRGホールディングス株式会社 | 2026年8月14日



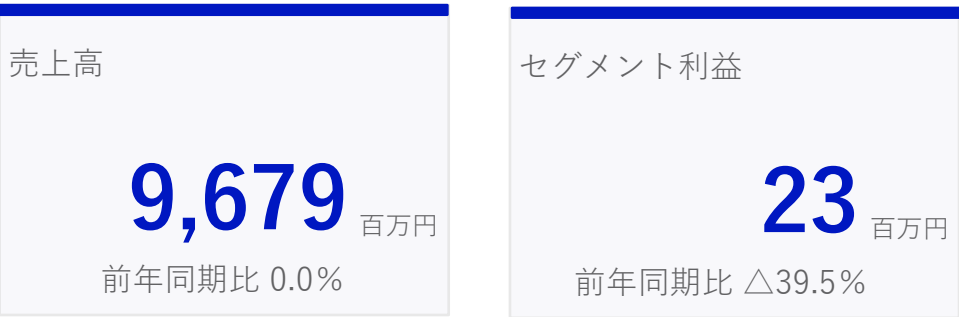
01 2026年9月期第3四半期 決算概要

売上高12,494百万円・営業利益185百万円・経常利益114百万円・四半期純損失12百万円にて着地

フィナンシャル事業の連結除外により前年同期よりも営業利益は減少するも、報告セグメント（H R 関連＋製造関連）の利益合計は147→231百万円へ拡大。2026年 7 月 1 日付にて期末配当 9 円とする配当予想の修正および株主優待制度の導入を発表。中間期に計上したリファイナンスに伴う一時費用および税効果等の影響があるものの、事業は概ね堅調に推移



H R 関連事業



派遣から請負へのシフトや障がい者雇用支援・宿泊物件の運営管理の受託等、
収益性の高い事業の成長加速へ尽力

物流・製造向け人材派遣は堅調に推移。収益構造の転換に伴う先行費用および新規領域への取り組みにより、セグメント利益は前年同期を下回る
障がい者雇用支援におけるサテライトオフィスの新規出店や都市型宿泊物件の
宿泊管理運営受託の拡大に注力

製造関連事業



既存製造請負拠点・東金工場の安定稼働が増収増益を牽引

売上高2,819百万円（前年同期比17.3%増）、セグメント利益207百万円（同92.6%増）。製造業向け人材派遣の強化と取引基盤の拡大に注力

売上高はフィナンシャル事業の連結除外を吸収して前年同期並み。営業利益185百万円・経常利益114百万円

物流・製造向け人材派遣や製造請負の安定稼働、障がい者雇用支援・宿泊管理サービスの伸長により売上高は前年同期水準。一方、収益構造の転換に伴う先行費用および新規領域への取り組みにより営業利益は前年同期を下回る着地。経常利益は中間期に計上した一時費用の影響が残る。

(百万円)	2025年9月期 3 Q		2026年9月期 3 Q		前年比	
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	増減額	増減比 (%)
売上高	12,532	100.0	12,494	100.0	△37	△0.3
売上原価	9,418	75.1	9,479	75.9	61	0.7
売上総利益	3,114	24.9	3,014	24.1	△99	△3.2
販売費及び一般管理費	2,877	23.0	2,829	22.6	△47	△1.7
人件費	1,569	12.5	1,484	11.9	△85	△5.4
広告宣伝費	172	1.4	203	1.6	31	18.0
支払手数料	338	2.7	395	3.2	56	16.7
地代家賃	209	1.7	232	1.9	23	11.0
その他販管費	586	4.7	513	4.1	△73	△12.4
営業利益	237	1.9	185	1.5	△51	△21.9
営業外収益	8	0.1	59	0.5	50	575.1
営業外費用	61	0.5	130	1.0	68	110.9
経常利益	184	1.5	114	0.9	△69	△37.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は四半期純損失 (△)	69	0.6	△12	△0.1	△82	—

フィナンシャル事業の連結除外を、H R 関連事業と製造関連事業で吸収。報告セグメントの利益合計は147→231百万円へ拡大

主に製造関連事業は東金工場・既存請負拠点の安定稼働により事業を牽引し、セグメント利益107百万円→207百万円（前年同期比92.6%増）。H R 関連事業は先行費用により23百万円の減益にて着地

(百万円)	2025年9月期 3 Q		2026年9月期 3 Q		前年同期比	
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	増減額	増減比 (%)
売上高合計	12,532	100.0	12,494	100.0	△37	△0.3
H R 関連事業	9,675	77.2	9,679	77.5	3	0.0
製造関連事業	2,403	19.2	2,819	22.6	416	17.3
調整額	△2	-	△4	-	-	-
その他	455	3.6	-	0.0	△455	△100.0
セグメント利益合計	237	1.9	185	1.5	△51	△21.9
H R 関連事業	39	0.3	23	0.2	△15	△39.5
製造関連事業	107	0.9	207	1.7	99	92.6
調整額	△77	-	△45	-	-	-
その他	167	1.3	△0	0.0	△167	△100.2

注：「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィナンシャル事業であります。

主な取り組み

- ・ 障がい者雇用支援サービス：2026年 7 月に広島サテライトオフィスを新規開設。岡山についても開設に向けた準備を推進
- ・ H R 関連事業：派遣から請負への構成比シフトの動きや I T 人材育成の取り組みも継続
- ・ 宿泊管理サービス：都市部を中心とした宿泊施設の運営受託の拡大に注力

通期業績予想は前回公表（2025年11月14日付）から変更なし。売上高の進捗率は69.4%

経常利益以下は中間期に計上したリファイナンス関連の一時費用が進捗率に影響、コールセンター派遣の伸び悩みが見られる中、利益率の高い派遣から請負へのシフト、障がい者雇用支援サービスや宿泊管理サービス等の事業拡大による業績寄与に注力

(百万円)	2026年9月期業績予想		2026年9月期 3 Q実績		計画進捗
	予想	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	進捗率 (%)
売上高	18,000	100.0	12,494	100.0	69.4
営業利益	300	1.7	185	1.5	61.7
経常利益	250	1.4	114	0.9	45.7
親会社株主に帰属する当期純利益 又は四半期純損失 (△)	100	0.6	△12	△0.1	-

短期借入金から長期借入金への振替により流動比率は98.0%→164.4%へ改善、自己資本比率も35.7%（前期末32.2%）に上昇

有利子負債は4,492→3,358百万円へ1,134百万円減少。今後も安定した財務基盤の構築・維持が重要と認識

連結貸借対照表

（百万円）	2025年 9 月期	2026年 9 月期 3 Q
流動資産	5,519	4,624
現金及び預金	3,511	2,646
売掛金	1,631	1,780
その他	375	198
固定資産	3,542	3,717
有形固定資産	1,632	1,617
無形固定資産	489	466
投資その他資産	1,421	1,633
総資産	9,061	8,342
流動負債	5,634	2,812
固定負債	506	2,551
負債	6,141	5,363
純資産	2,920	2,978
株主資本	2,921	2,864
負債純資産合計	9,061	8,342

有利子負債・主要財務指標

（百万円）	2025年 9 月期	2026年 9 月期 3 Q
短期借入金	3,743	250
1年内返済予定の 長期借入金	262	668
長期借入金	486	2,440
有利子負債合計	4,492	3,358
現金及び預金	3,511	2,646
自己資本比率（%）	32.2	35.7
流動比率（%）	98.0	164.4

02 株主還元と今後の方針

2026年7月1日に、期末配当1株当たり9円の実施と株主優待制度（デジタルギフト）の導入を発表

連結配当性向30%以上を基準とした安定的かつ継続的な利益還元を方針としており、今期については業績に関わらず前期と同額の9円で配当を実施

期末配当金

9.00

円

前期実績 9.00円

■ 配当

2026年2月13日付にて未定としておりました2026年9月期の配当予想につきまして、足元の財務基盤が安定してきていることを踏まえ、期末配当1株当たり9円（前期と同額）を実施することを決議いたしました。

■ 株主優待制度（デジタルギフト）

毎年9月30日を基準日とし、100株（1単元）以上を保有の株主様を対象といたします。保有単元数および保有期間に応じて付与し、第1回の権利確定日は2026年9月30日です。

株主優待の内容

保有株式数	1年未満保有	1年以上保有
100株以上500株未満	100円分	300円分
500株以上1,000株未満	1,000円分	4,000円分
1,000株以上	4,000円分	12,000円分

※1年以上保有：3月末および9月末時点の株主名簿に、同一株主番号で3回以上連続して記載された株主様

配当＋株主優待の想定利回り

保有株式数	1年未満保有	1年以上保有
100株（1単元）	4.0%	5.2%
500株（5単元）	4.4%	7.6%
1,000株（10単元）	5.2%	10.0%

※1株当たり株価250円、年間配当金9円を前提とした試算（2026年7月1日開示資料より）。利回りを保証するものではありません。

■ 2026年9月期第3四半期の総括

当第3四半期は、フィナンシャル事業が連結の対象から外れたなかにあっても、H R 関連事業と製造関連事業の合計で前年同期を上回るセグメント利益を確保いたしました。財務面では、リファイナンスにより有利子負債を圧縮し、自己資本比率・流動比率ともに前期末から改善しております。

■ 今後に向けて

今後におきましては、**既存事業の収益力強化と費用構造の見直しを進め、利益の確保**に注力してまいります。当社グループは、安定的に利益を確保し、事業基盤・財務基盤の整備を行いつつ収益性の確保に努めながら株主還元や新たな成長領域への投資を進めていく方針です。

2026年7月1日付にてお知らせいたしましたとおり、期末配当は1株当たり9円への配当予想の修正を発表し、あわせて株主優待制度を導入しております。なお、AIエージェント活用につきましては、中間期に発表したロードマップに沿って推進しております。

03 Appendix

会社概要

会社名	CRGホールディングス株式会社	
所在地	東京都新宿区西新宿2丁目1番1号	新宿三井ビル37階
設立	2013/10/1	
資本金	4億5,286万円※2025年9月時点	
役員	取締役会長 井上 弘 代表取締役社長 小田 康浩 取締役 三並 史典 社外取締役 半田 純也 社外取締役 吉原 直輔 常勤監査役 岡野 務 社外監査役 長井 亮輔 社外監査役 島 正彦	
上場	東証グロース（証券コード：7041）	
従業員数	36名 ※2025年9月時点	



主要財務指標（2025年9月期実績）

売上高	16,420 百万円
営業利益	279 百万円
経常利益	210 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	153 百万円

グループ会社

 ミライル 株式会社ミライル 人材派遣・紹介・BPO	 PROTEX 株式会社プロテクス 製造請負・製造・物流 倉庫業務	 PALETTE 株式会社パレット 障がい者雇用支援	 OCiETe 株式会社オシエテ 通訳・翻訳サービス 宿泊管理	 CRG Investment CRGインベストメント株式会社 M&A仲介 投資事業
---	--	--	--	---

年 月	概 要
2004年03月	株式会社シーキャスト（12月に株式会社キャストイングロードが吸収合併）が コールセンター派遣事業 を開始
2004年10月	株式会社ジリオンキャリアリンクが株式会社キャストイングロードに商号変更
2013年08月	株式会社キャストイングロードが セールスサポート事業 を開始
2013年10月	CRグループホールディングス株式会社設立 株式会社ジョブス設立 株式会社CRSサービス株式会社（現 株式会社パレット）設立
2014年08月	CRグループホールディングス株式会社がキャストイングロードホールディングス株式会社に商号変更
2015年10月	株式会社プロテクス設立、 製造請負事業 を開始 株式会社キャストイングロードが 介護ヘルパー派遣・看護師紹介事業 を開始
2016年10月	株式会社ジョブス、株式会社プロテクスがキャストイングロードホールディングス株式会社の100%子会社化
2017年06月	キャストイングロードホールディングス株式会社が商号を CRGホールディングス株式会社に商号変更
2018年10月	CRGホールディングス株式会社が 株式会社東京都証券取引所マザーズ（現 グロース市場） に株式を上場
2019年01月	株式会社キャストイングロードが ハイキャリアエージェントサービス事業 を開始
2019年04月	CRGホールディングス株式会社が グローバル人材サービス事業 を開始
2019年11月	株式会社パレットが サテライトオフィスサービス事業 を開始
2021年02月	CRGホールディングス株式会社の子会社として、CRGインベストメント株式会社を設立 M&A仲介・投資事業 を開始 株式会社キャストイングロードが 採用コンサルティング事業 を開始
2022年11月	法人向けクラウド通訳・翻訳サービス事業 を営む株式会社オシエテを完全子会社化
2024年04月	事業者向け金融事業 を営む株式会社クレイリッシュ（現 株式会社高島屋クレイキャピタル）を完全子会社化
2024年09月	千葉県東金市に製造工場が竣工、株式会社プロテクスが 製造事業 を開始
2024年10月	株式会社CRドットアイが株式会社キャストイングロード及び株式会社ジョブスを吸収合併し株式会社ミライルに商号変更
2025年03月	株式会社オシエテが 宿泊管理事業 を開始
2025年09月	株式会社クレイリッシュ（現 株式会社高島屋クレイキャピタル）の株式を一部売却し持分法適用会社化

HR関連事業

人材派遣

コールセンター

事務

販売・接客

リゾート

物流

倉庫

イベント

介護・看護

ITエンジニア

人材紹介

紹介予定派遣

ハイキャリア

BPO

BPO事務代行

コンタクトセンター

採用支援・採用代行

障がい者雇用

就労移行支援

サテライトオフィス

通訳・翻訳

オンライン通訳サービス

宿泊管理

運営管理支援サービス

製造関連事業

製造請負

工場内製造

工場内物流業務

製造

工場派遣

倉庫運営

AIエージェント活用による業務効率化に向けたロードマップを策定・公表

● 背景・目的

AIエージェント技術の急速な進展を受け、当期9月期内に業務への本格適用を目指す取り組みとして策定。社内体制整備から業務適用・定着まで3段階のフェーズで推進

● 今後の展望

AIエージェントを基幹業務に定着させることで、生産性向上と事業拡大への貢献を目指す。同時にAIを活用したサービス提供モデルの構築も検討

AI活用推進ロードマップ（2026年1月～9月）

第1フェーズ 2026年1～3月	第2フェーズ 2026年4～6月	第3フェーズ 2026年7～9月
基礎整備・基盤活用開始	業務適用の試行・検証	活用定着・展開準備
概要 AI活用に向けた基礎的な環境・組織整備を進め、業務適用に向けた準備を行う 到達目標 - AIエージェント活用に向けた社内体制の整備 - 試作したAIエージェントを活用したイメージの具体化 取り組み内容 - 全従業員を対象とした定期的な研修の実施 - AI活用に向けた基礎的な理解の習得から、日々の業務課題の整理および適用範囲の検討の実施	概要 特定業務においてAIエージェントの試験導入を行い、実務での有効性を検証する 到達目標 - 実業務におけるAIエージェント活用事例の創出 - 業務効率化や品質向上に向けた効果検証の実施 主要施策 - パイロット業務でのAIエージェント試験運用 - 効果測定・KPI設定と定量的評価の実施 - 課題抽出・改善サイクルの確立	概要 AIエージェント適用定着を図り、持続的な業務への活用に向けた準備を進める 到達目標 - AIエージェント活用が業務に定着した状態の確立 - 中長期的なAI活用に向けた方向性の明確化 主要施策 - 複数業務への展開・横展開の推進 - 活用成果の社内共有・ナレッジ蓄積 - 次期ロードマップの策定と経営への提言

ESG項目	当社の取り組み	SDGs項目
E (環境)	環境保護の推進 LIMEXの名刺活用	12 つくる責任 つかう責任 15 陸の豊かさも 守ろう 6 安全な水とトイレ を世界中に
S (社会)	雇用機会の創出 総合人材サービス企業として社会の諸問題解決の支援	8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう 17 パートナリーシップで 目標を達成しよう
	教育・研修の活性化 派遣キャストの長期就業・スキルアップをサポート	4 質の高い教育を みんなに
	働き方改革 業務効率化・ワークライフバランスを重視した人事制度の導入	5 ジェンダー平等を 実現しよう
	地方創生 リモート派遣・サテライトオフィスなど地方で雇用を創出	8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう
	ダイバーシティ 健康経営・女性活躍の推進、障がい者雇用の促進	5 ジェンダー平等を 実現しよう 3 すべての人に 健康と福祉を
G (ガバナンス)	コーポレートガバナンス 社会貢献・企業価値向上に向けたマネジメント体制の構築	16 平和と公正を すべての人に

本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。

本資料は、当社及び当社グループをご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。

IRに関するお問い合わせ

CRGホールディングス株式会社 経営企画部 IR担当
E-mail : crghd-ir@cr2.co.jp
URL: <http://www.crgh.co.jp>